

研究計画概要

助成年度・種別	2017年度 若手研究助成
研究者	喜入 暁
所 属	法政大学大学院人文科学研究科
研究テーマ	パートナーへの暴力加害要因の特定と効果的な介入方法の探索：尺度作成を通して
研究計画概要	<p>本研究の目的は、パートナーへの暴力加害の要因を明らかにし効果的な介入方法を模索するための基盤を形成することである。現状の問題点として、本邦ではパートナーへの暴力を測定するツールが確立されておらず、そのため、国外における知見の一般化可能性が検証されていない。そのため本研究では、パートナーへの暴力を測定する尺度の作成および妥当性の検証を行なう。次に、作成された尺度を用いて国外で示された加害要因、特にパートナー間要因¹の一般化可能性を示す。これらを達成するため、1) これまでに申請者が作成したパートナー暴力の測定尺度²と、パートナー暴力に関わる様々な個人特性³との相関関係が十分に高いことを示し、パートナー暴力の尺度の有効性を示す。2) カップルを対象とした調査を行い、パートナー関係におけるパワーバランスおよび関係構築形態がどのようにパートナー暴力と関連するかを示す。</p> <p>¹ 個人特性に比べてパートナー関係特性は介入による変容が比較的可能であり、今後の介入・予防の研究に応用できる。</p> <p>² 側面のパートナー暴力形態を各3項目で測定する。</p> <p>³ ビッグ・ファイブ・パーソナリティ、愛着、共感性、自己制御を想定。</p>
選考委員からのコメント	<p>本研究は、パートナーへの暴力加害要因を測定する尺度の作成と介入の探索を目的とした研究であり、重要な研究テーマである。カップル関係における加害要因について、パーソナリティとの関連のみならず愛着、共感性、自己制御との関連を明らかにしようとする実証研究である。更に、関係性への介入や予防にも研究の目的を広げており、研究成果に期待が持てる。</p>